

# 花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記2

国立市立国立第七小学校

平成26年10月7日 NO.45 (145)

モンタ博士「4日の<sup>うんどうかい</sup>運動会は、お天気もよくて、みんなとてもよくがんばってえらかったね。運動会での<sup>がっこうせいかつ</sup>がんばりをこれからの学校生活で生かしていこうね。ところで、突然<sup>とつぜん</sup>だけど、今日<sup>きょう</sup>は、お月様<sup>つきさま</sup>のお話<sup>はなし</sup>をしよう。」

花ちゃん「え！お月様？<sup>きゅう</sup>急にどうかしたんですか。モンタ博士！」

モンタ博士「まあまあ、そのうちわかるよ。ところでさ、『月』<sup>つき</sup>というと、みんなは何<sup>なに</sup>を思い出すかな。どんなことでもいいよ。言<sup>い</sup>ってごらん。」

花ちゃん「そうですね。三日月<sup>みかづき</sup>とか半月<sup>はんげつ</sup>とか……。ですか。」

オー君「満月<sup>まんげつ</sup>っていうのもあるでしょ。」

花ちゃん「それから、1月<sup>がつ</sup>・2月<sup>がつ</sup>・3月<sup>がつ</sup>……。」

オー君「……。10月<sup>がつ</sup>・11月<sup>がつ</sup>・12月<sup>がつ</sup>ってあるね。」

モンタ博士「なーるほど。月<sup>つき</sup>って、三日月<sup>みかづき</sup>とか満月<sup>まんげつ</sup>とかもあるけど、〇月<sup>つき</sup>、△月<sup>つき</sup>とか、こよみでも使<sup>つか</sup>うんだね。よく気<sup>き</sup>がついたね。」

花ちゃん「モンタ博士！こよみというのは、月<sup>つき</sup>や地球<sup>ちきゅう</sup>や太陽<sup>たいよう</sup>などの動き<sup>うご</sup>に合わせてできているって、<sup>としよしつ</sup>図書室の本<sup>ほん</sup>で読<sup>よ</sup>んだことがあります。」

モンタ博士「その通り<sup>とお</sup>だね。地球<sup>ちきゅう</sup>が自分<sup>じぶん</sup>で1回<sup>かい</sup>まわると、『1日<sup>1にち</sup>』だね。月<sup>つき</sup>が地球<sup>ちきゅう</sup>のまわりを1回<sup>ひとつき</sup>まわると、『1月<sup>つき</sup>』だ。それから、地球<sup>ちきゅう</sup>が太陽<sup>たいよう</sup>のまわりを1回<sup>ひとつき</sup>まわると、『1年<sup>1ねん</sup>』だ。そうやってこよみはできているんだね。」

おーくん「なーるほど。そういうことですか。」

モンタ博士「それから、月<sup>つき</sup>は1ヶ月<sup>1かげつ</sup>の間<sup>あいだ</sup>にいろいろと形<sup>かたち</sup>を変<sup>か</sup>えるのを知<sup>し</sup>っているかな。」

花ちゃん「それがつまり、三日月<sup>みかづき</sup>とか半月<sup>はんげつ</sup>とか満月<sup>まんげつ</sup>とかいうのですね。」

モンタ博士「そういうことさ。夕方<sup>ゆうがた</sup>の月<sup>つき</sup>の形<sup>かたち</sup>と方角<sup>ほうかく</sup>というのは、いつもきまっているんだ。」

オー君「どういうことですか。」

モンタ博士「あのね、お日<sup>ひ</sup>様<sup>さま</sup>がしずむと、細<sup>ほそ</sup>い三日月<sup>みかづき</sup>が西<sup>にし</sup>の空<sup>そら</sup>に出<sup>で</sup>てくるんだ。そして、日<sup>ひ</sup>がたつにつれて、お月<sup>つき</sup>様の位置<sup>いち</sup>は東<sup>ひがし</sup>へとずれていくんだ。」

花ちゃん「そして、三日月<sup>みかづき</sup>がだんだんふとっていくんですね。」

モンタ博士「その通り。そして半月になると、南の空に光るんだ。さらに、満月は、東の空に見えるのさ。そのうち、月の出がおそくなり、夕方には見えなくなるとのことさ。」



モンタ博士「そして、月齢26日の月は、朝方、太陽の出る前に東にのぼるといわけね。」

オー君 「え！ちょっとまってモンタ博士。今、月齢とかいったけど、何のことですか。」

モンタ博士「みんなにも年というものがあるだろう。」

人間は1年365日で1つ年をとるね。

それと同じで、月は毎日1つずつ大きくなるんだ。右の写真のきりぬきを見ればわかると思うよ。」

オー君 「なーるほど。そういうことですか。」

月の満ち欠けて、おもしろいね。」

花ちゃん 「それに、観察はすぐできそうだし、

私、月の満ち欠けを1ヶ月ずうっと調べてみるわ。」

オー君 「ぼくもやるよ。いっしょ手伝うよ。」

モンタ博士「それから、言い忘れたけど、明日は

皆既月食といって、3時間くらいの間に月が満ち欠けするよ。」

花ちゃん・オー君「え！皆既月食？」

**あすの暦**

10月3日 (金曜日)

通日 276  
旧9月10日  
<赤口>  
月齢 8.9

(正午)

日出 5.37  
日入 17.23  
月出 13.38  
月入 —

—東京標準—

満潮 { 13.32  
          23.51  
干潮 { 5.45  
          18.53

(長潮)

**あすの暦**

10月4日 (土曜日)

通日 277  
旧9月11日  
<先勝>  
月齢 9.9

(正午)

日出 5.38  
日入 17.21  
月出 14.24  
月入 0.30

—東京標準—

満潮 { —  
          14.31  
干潮 { 7.16  
          20.08

(若潮)